



第91号

あゆみ

NPO 法人ユーアイやちよ
 276-0034 八千代市八千代台西 8-16-1
 TEL047-482-4109 FAX047-482-4179
 E-mail ui-yachiyo@mocha.ocn.ne.jp
<http://ui-yachiyo.sakura.ne.jp/>

30周年記念祝賀会開催

令和4年11月12日(土曜日)
 八千代台文化センター

ユーアイやちよ創立30周年記念祝賀会を開催しました。メイベルのみなさまからハンドベルの演奏、パストラレのみなさまからトーンチャイムの演奏、やちよマジックのお二人からは、手品を披露して頂きました。その後、みんなで体操を行い、最後に10年、20年、30年以上に渡って、ユーアイやちよの業務に携わった関係者に、永年表彰が行われました。



網干代表挨拶

新型コロナウイルスの終息が見えない中で、開催できるか心配していましたが、飲酒を控え、話をする時は、マスクを必ずつけてするようにして開催しました。それでも、久しぶりに出会えた人たちや、初対面の人とも交流できました。

当日は、「ユーアイやちよ30年誌」をみなさまに配布すると共に、記念のお菓子を持ち帰っていただきました。会場には、ヘルパーが介護中の写真やふれあいサロン等の写真、池田二郎さんが作ってくださった『ユーアイやちよ30年のあゆみ』（あゆみ1号から最新号までを1冊に集大成したもの）などが展示されました。

次の40周年に向けて、みんなで力を合わせて、頑張っていきましょう。



【30周年祝賀会スナップ】



【アトラクション関係】



【永年表彰関係者スナップ】



ユーアイやちよ
 30年誌



- 【30年表彰者氏名】**
 大木 陽子 肝付 透子 雅名 美代子
 鈴木 静江 桃井 佳子 山崎 勝子
- 【20年以上表彰者氏名】**
 石垣 フニ子 坂本 孝子 木下 和恵
 星田 加代子 賀賀 節子 小林 美恵
 東次 浩子 登根 美千子 北條 美津子
 山田 しげ子 須辺 輝子
 (賛助会員) 増田 和子 桃井 哲朗
 (特別表彰) 松下 やえ子
- 【10年以上表彰者氏名】**
 香妻 裕子 網干 勝 網干 万里子
 菅貝 清子 岡 三枝 森村 雅子
 栗田 分記子 降旗 富紀子 佐久間 多喜子
 東次 正一 鈴木 千夜子 鈴木 裕子
 手塚 八恵子 戸村 照子 中野 嘉子
 香田 洋子 福田 文江 藤原 幸美代
 山崎 タキ子 井ノ内 春子 村井 文美子




ご利用者様アンケートのご報告

網 干 勝

【利用者アンケート実施状況等】

今年度も7～8月に渡って、介護保険や障害福祉サービス及び自費サービス（移送サービス、ユーアイサービス）を利用されているご利用者様にアンケートを実施させていただき、165名の方から回答をいただきました。集計結果は、下記のとおりでした。ご指摘いただいた内容は、訪問介護の基本的な内容ですので、サービス提供責任者で話し合い、個人差をできるだけなくすと共に、ご利用者様のご要望をよく聞き、お気持ちに沿ったサービスができるよう研鑽してまいります。

また、アンケートでいただいたメッセージを励みに、より一層精進してよいサービスを提供できるように努めてまいりますので、今後ともよろしくお願いたします。

利用者様アンケート結果（回答者：165人）		
サービスに対する評価	満足している	132人(80.0%)
	おおむね満足している	28人(17.0%)
	どっちでもない	4人(2.4%)
	やや不満、不満	1人(0.6%)

【サービスに関するご指摘】

ご指摘いただいた内容	当法人の対応内容
* ヘルパーの人数が足りないと、利用者にしわ寄せがきているようですが、ヘルパーの知らないことや、困っていることを相談に乗ってくださる方はいないでしょうか？	☞ ケアマネージャー（別事業所）と相談し、ヘルパーの訪問回数を増やしました。（週2回→週3回） サービス提供責任者も訪問して、困りごとなどをお聞きできるようにしていますので、そのことをていねいに説明させていただきました。
* かげである人、家内のことを話している。一部の人だけど、気を付けて欲しいです	☞ 無記名でのご返信でしたので、ご本人への対応はできませんでしたが、法人全体で個人情報の取り扱いについて再度徹底します。
* 時間にルーズ。	☞ 電話で話した後、「午後に行きます!」と伝えましたが、ご本人はすぐに自宅に来てくれると受け止めていました。今後は「〇時にお伺いします。」と、具体的にお伝えするように気を付けます。

相談



【利用者様から頂いた応援のメッセージ】

訪問介護（ヘルパーサービス）・移送サービスの利用者様から
* 初めの頃はよく話せないこともあり、やさしく介助して下さり、とてもうれしかったです。
* 言いたいことも言えるし聞いてくれる。体がすっきりします。さっぱりもいいこと。
* 2年余り利用しています。ヘルパーさんたちが限られた時間内に、心のこもったサービスができ、一人暮らしの不安を優しく癒してくれます。初めての経験が、私の自立の勉強になっています。
* 温かく母に合わせてケアを行っていただいている様子が伝わってきます。連絡事項も分かりやすく、安心してお願いできます。とても感謝しています。（ご家族）
* （事務所の）電話の受け答えが完璧です。
居宅介護支援（ケアプラン）の利用者様から
* 話をよく聞いてくれる。押し付けるような雰囲気は全くない。
* 私の健康のこと、主人の認知症状のこと等、親身になりよく話を聞いていただき、心強くなります。
* 家族がどう対処してよいかわからない時、相談に乗ってもらって助かりました。

賛助会費をありがとうございます!!

令和4年度の賛助会費をいただきました。心より感謝申し上げます。

降旗富紀子 様、増田和子 様

引き続き、賛助会員としてのご協力ご支援をお願いいたします。



日本認知症ケア学会主催「不適切ケアが及ぼす影響」を受講して

小川 千晴

2021年4月から「認知症の定義」が15年ぶりに変更されました。

変更箇所を一言でお話すると、これまでは「記憶機能及びその他の認知機能が低下した状態」とされ、「認知症≒記憶機能の低下」が強調されがちでしたが、変更後は「認知機能が低下した状態」と記憶機能の部分が削除されています。認知症の定義が変更されたことに伴い、私たち介護職が担う役割についても、改めて考えて行く必要があります。

① 医療・介護の連携がますます重要になっている！！

BPSD（行動・心理症状）の悪化を防ぐ上で、最近重視されているのが本人の持病や服薬管理。支援者間で共通認識を持つことが欠かせず、言葉の定義を始め原因疾患や診断基準など、専門知識が共有できないと連携にも溝が生じます。

② 認知症に対する社会の理解が重要になる！！

「認知症≒記憶障害だけではない」と言う理解を、介護現場から家族や地域に発信して行く必要がある。国は認知症の人の社会参加支援に力を入れて、認知症ケアでも地域との関わりをどのように支援するかが問われています。

例えば「前頭側頭型認知症」は記憶の障害ではなく、人格変化、抑制や社会性の欠如、常同行動が主な症状となるので、「認知症≒記憶障害や妄想」と思っているご家族などは、認知症と気づきづらいかもかもしれません。BPSDは周囲の人たちの対応を見直す事で改善が期待できますが、逆に介護者の知らぬ間の不適切な対応（非意図的虐待）が症状を悪化させ、虐待に繋がっていく可能性もあります。（自分達の対応が“困難事例”にしてしまっている？）私たちヘルパーは、専門職としてその方の認知証の種類は何なのか、どのような症状が出るのか、それにはどのような声かけや対応をすべきなのか、基準をその方にむけて接しなくてはなりません。

ヘルパーは作業ばかりに目を向けず、小さなつぶやきや変化に気づき、状態を他職種に受け渡す役割があります。認知症の研究が進み薬も進化していますが、良い薬に出会う以上に『人』のケアが大切です。ユーアイやちよの活動方針にもあるように、「利用者のその人らしさを大切にし、心温まるサービスをこころがける」を常に意識しながら、日々取り組んでいこうと改めて思いました。



～ ヘルパーのリレーメッセージ ～ 升ノ内泰子さん

微笑みの輪

- ヘルパーとしての勤務期間 18年お世話になりました。
- 好きな言葉 あきらめない！！
- 仕事にあたって心がけていること 報告 相談 連絡
- 利用者さんから教えていただいたこと 生き方の知恵
- うれしかったこと 訪問を待っていてくださること「ありがとう」
- 仕事以外の楽しいこと 旅行、カメラ、絵を描くこと



地域支援事業 R4 年度前期(4～9月)ボランティア活動実績



- * 語りあいパートナーの会 実利用者 15名 参加ボランティア 18名
- * 小さなお手伝い 実利用者 13名 参加サポーター 7名
(ゴミ出し、お使い等)
- * ふれあいサロン活動 開催箇所 6カ所 当会参加スタッフ 27名





たすけあい活動グループ研修会に参加して

小林良博

R4 年 9 月 28 日 千葉県たすけあい協議会主催

講師は、これまで何度かお話のあった淑徳大学准教授の山下興一朗先生で、「現代たすけあいコーディネーター論」というテーマでした。参加者から寄せられたアンケート内容の補足説明後、4人グループでの話し合い、その結果について発表が行われた。

「始めたばかりの助けあい活動に対する悩み」、「コーディネート業務を行う際の不安や悩み」、「利用者 と 協力会員との関係性」など 6 つのテーマが取り上げられた。私としては、「たすけあい」事業という業務に、様々な形で係わる関係者の貴重な意見を聞くことができ、非常に参考になった。

山下講師からのまとめでは、今日の介護サービス(賄いきれない制度サービス)の状況の中で「たすけあい」事業にいかに関与することが必要かということ、更に「たすけあい」事業で、利用者 と 活動者(事業所、市民活動団体、ボランティア) との利害関係を含めた調整、様々な課題に対するコーディネートが果たす役割の大切さを話された

【行事の報告】

- 7 月 職員面談
- 7/21 「語らいパートナーの会」勉強会
- 7 月～8 月 利用者アンケート
- 7 月 定例会 (研修:『食中毒と熱中症の予防』)
- 9/8～29 傾聴ボランティア養成講座 (4 日間開催)
(23 名の参加と 10 名以上の語らいへの入会者)
- 9 月 定例会 (研修:『個人情報保護と
身体拘束・不適切ケアを考える』)
- 9/28 「千葉県たすけあい協議会」コーディネーター
研修会
- 10 月～勝田台訪問介護事業所
⇒ 八千代台訪問介護事業所サテライト
- 11/12 『30 周年記念祝賀会(八千代台文化センター)』
- 11/17 「語らいパートナーの会」勉強会



【今後の予定】

- 12 月 定例会 (研修: 認知症)
- 令和 5 年 1 月 定例会
- 1/19 「語らいパートナーの会」勉強会
- 3 月 定例会
- 3/16 「語らいパートナーの会」勉強会



お祝いをいただきました！！



去る 11 月 12 日の『ユーアイやちよ 30 周年記念行事』の開催に際し、下記の皆様からお祝いを頂きました。暖かいお志に深く謝意を申し上げます。

石垣クニ子、伊藤真理子、小田幸男、鈴木静江、戸村熙子、松下やえ子、宮崎みどり

勝田台訪問介護事業者がサテライトに！

ユーアイやちよ勝田台事業所は、10 月から八千代台事業所のサテライト(出張所)として再スタートしました。今後は、今まで以上に**八千代台と勝田台とで連携し、訪問介護の業務を進めること**になりますので、ご理解と協力をよろしくお願ひします。

なお、労務管理上の変更はありません。管理者の業務は、八千代台事業所が務めます。

